

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

| | |
|---------------------------------|--|
| 研究課題名 (整理番号) | 子宮内膜癌の morule における発生分子機構の解明と新規治療戦略 (B24-139) |
| 当院の研究責任者 (所属・職位) | 医学部病理学 助教 横井愛香 |
| 他の研究機関 および 各施設の研究責任者 | なし |
| 本研究の概要・背景・目的 | 高分化な子宮内膜癌では、顕微鏡にて「細胞巣 morule」が認められ、研究レベルで予後良好因子とされています。Morule のより詳細な発生分子機構を研究することで、新規治療法の開発に繋がると考えており、解明を目指しております。 |
| 調査データ 該当期間 | 2010年4月1日～2028年3月31日 |
| 対象となる患者さん | 上記期間内に当院婦人科にて子宮内膜癌の切除手術を受けられた患者さん |
| 研究の方法 (使用する試料等) | 2010年4月1日から2028年3月31日の間に手術を受けられた患者さんの切除検体を使用します。また、北里大学病院電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。血液検査所見、放射線画像所見、病理報告書、治療内容、治療経過も使用致します。 |
| 試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法 | 他の機関への試料・情報の提供はありません。 |
| 利用又は提供を開始 する予定日 | 利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から |
| 個人情報の取り扱い | 利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。 |
| 本研究の資金源 (利益相反) | 科研費(基盤研究Cや若手研究B)、学内研究費(医学部けやき会研究助成や学術奨励研究)で行います。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。 |
| お問い合わせ先 | 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができ |

ない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属・職位：医学部病理学 助教

担当者：横井 愛香（ヨコイ アコ）

電話：042-778-8111

備考